

2025 年 11 月 18 日

日本調剤株式会社

**日本調剤、約 4 万個売れたヒット PB もち麦をリニューアル！
食後の血糖値上昇を抑制し、おなかの調子を整える機能性表示食品に
～血糖値や便通が気になる方へ。2 つの機能を持つ純国産もち麦～**

全国 47 都道府県で調剤薬局を展開する日本調剤株式会社（本社所在地：東京都港区芝、代表取締役社長：小城 和紀、以下「日本調剤」）は、累計販売数約 4 万個を誇るプライベートブランド商品「日本調剤の瀬戸内産もち麦」を機能性表示食品「香川県産もち麦ダイシモチ」としてリニューアルし、2025 年 11 月 18 日より「日本調剤オンラインストア」で、11 月 28 日より日本調剤の店舗で販売いたします。本製品には食後血糖値の上昇をおだやかにするとともに、おなかの調子を整える機能が報告されている機能性関与成分「大麦 β -グルカン」が含まれます。



本品は機能性表示食品です。本品には大麦 β -グルカンが含まれます。大麦 β -グルカンには、食後血糖値の上昇をおだやかにする機能があることが報告されています。また、おなかの調子を整える機能があることが報告されています。

■精白米の約 30 倍の食物繊維を摂れる！“プチもち食感”が楽しいダイシモチ

従来の「日本調剤の瀬戸内産もち麦」は、瀬戸内地方で育ったもち麦「ダイシモチ」を 100% 使用した純国産製品です。白米に混ぜて炊くだけで精白米の約 30 倍、ごぼうの約 3 倍^{*1}もの食物繊維を摂取できる手軽さと、食べて楽しい“プチもち食感”、冷めても変わらないおいしさで人気を博しています。

■「香川県産もち麦ダイシモチ」3 つの特長

1. W のヘルスクレームを持つ「大麦 β -グルカン」

大麦 β -グルカンを含む香川県産「讃岐もち麦ダイシモチ」を 100% 使用。大麦 β -グルカンには、食後血糖値の上昇をおだやかにするとともに、おなかの調子を整える機能があることが報告されています。

2. 鉄分、カルシウム、ビタミン B1・B2 なども含み、栄養満点！

鉄分が豊富なことで知られるほうれん草、カルシウムが豊富なごぼうよりも多くの鉄分・カルシウムを含有。さらに、糖質・脂質の代謝に重要なビタミン B1・B2 などの栄養素も豊富に含みます^{*1}。

3. 白米に混ぜて炊くだけのお手軽調理

調理方法は本製品を水で軽くすすぎ、適量の水と一緒に白米に混ぜて炊くだけ。冷めても固くなりなく、味が変わりません。スープやチャーハン、リゾットに混ぜるアレンジもオススメです。

★本製品のアレンジレシピを日本調剤の管理栄養士が考案！栄養バランスの取れたレシピの詳細

は下記よりご覧ください

<https://store.nicho.co.jp/products/OS202511120001>



■開発者コメント(薬剤本部ヘルスケア推進部長 佐々木康秀)

厚生労働省によると、食後の血糖値が高い状態が続くと、**糖尿病や脳卒中、心筋梗塞**などを引き起こす恐れがあるといわれています※²。また、秋冬は体の冷えから胃腸の機能が低下し、**下痢や便秘、腹痛**などの不調が起きやすい時期です。血糖値や胃腸の不調が気になる方はもちろん、**おいしく手軽に食物繊維を摂取**したい方にもお召し上がりいただきたい製品です。



※1 五訂・日本食品標準成分表、ダイシモチに関しては日本食品分析センターより

※2 厚生労働省“食後高血糖”.e-ヘルスネット.

<https://kenet.mhlw.go.jp/information/information/dictionary/metabolic/ym-086.html> (閲覧日: 2025 年 11 月 5 日)

■商品概要

商品名称	香川県産もち麦ダイシモチ
機能性関与成分	大麦β-グルカン
届出表示	本品には大麦β-グルカンが含まれます。大麦β-グルカンには、食後血糖値の上昇をおだやかにする機能があることが報告されています。また、おなかの調子を整える機能があることが報告されています。
届出番号	E193
内容量	500g
希望小売価格	756 円(税込)
お召し上がり方	(1) 本品 15g(大さじすり切り約 1 杯)をたっぷりの水で軽くすすぎます (2) 白米一合を研ぎ、白米を炊く時と同じ水加減に調節します (3) 2 に 1 ですすいでおいた本品 15g を加え、約 15ml(大さじ 1 杯)程度の水を足してください ★炊き上がった後、しゃもじを使って軽くほぐし、約 10 分程度蒸らしていただくことで、さらにおいしくお召し上がりいただけます

- ・本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。
- ・本品は、特定保健用食品と異なり、消費者庁長官による個別審査を受けたものではありません。
- ・食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

■日本調剤オンラインストアでのご購入はこちらから

<https://store.nicho.co.jp/products/OS202511120001>

■本取り組みが該当する日本調剤グループのマテリアリティ

(重要課題グループ)	(マテリアリティ)
【A】医療のクオリティとアクセシビリティ	2. 未病・予防など地域の健康をサポートする薬局機能の拡張
【B】医薬品の品質と安定供給	
【C】医療機関の人的課題の解消	
【D】カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーへの寄与	
【E】多様な人材の育成と活躍	
【F】社会的責任を果たすためのガバナンス強化	

日本調剤グループは公正で透明性の高い経営基盤の構築を目指し、また、事業活動を通じた医療・ヘルスケア分野における社会課題の解決に取り組むために、マテリアリティを特定しています。日本調剤グループのサステナビリティの取り組みはこちらをご覧ください。

<https://www.nicho.co.jp/corporate/sustainability/>

【日本調剤グループについて】 <https://www.nicho.co.jp/brand/>

日本調剤グループは、すべての人の「生きる」に向き合う、という揺るぎない使命のもと、調剤薬局事業を中核に、医薬品製造販売事業、医療従事者派遣・紹介事業、情報提供・コンサルティング事業を展開する、多様な医療プロフェッショナルを擁したヘルスケアグループです。医療を軸とした事業アプローチによる社会課題解決を通じて持続可能性を追求し、すべての人の「生きる」に貢献してまいります。

【日本調剤株式会社について】 <https://www.nicho.co.jp/>

1980 年の創業以来、一貫して国の健康保険制度を支える調剤薬局のあるべき機能・役割を全うすべく「医薬分業」を追求し、調剤薬局展開を積極的に行っています。現在では、全都道府県に調剤薬局を展開し約 4,000 名の薬剤師を有する、日本を代表する調剤薬局企業として評価を得ています。また、ジェネリック医薬品の普及や在宅医療への取り組みだけでなく、早くから ICT 投資を積極的に進めており、超高齢社会に必要とされる良質で革新的な医療サービスの提供を行ってまいります。

【本ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

日本調剤株式会社 広報部 広報担当

TEL:03-6810-0826 FAX:03-3457-3152

E-Mail: pr-info@nicho.co.jp